

- ◆企画名 『STOP! アルコール・ハラスメント』  
日 程 平成27年4月7日(火)～4月11日(土)  
場 所 総合学生会館凜風館1階 学生ラウンジ  
参加者数 7名(ピア・サポータ)  
目 的

未成年者飲酒防止強調月間、また本学の未成年飲酒防止啓発行事に合わせて啓発企画を行うことで、アルコールの危険性、未成年者が飲酒することによる悪影響を知り、一人ひとりの人権を尊重することの重要性を正しく認識してもらうため。

また、新入生歓迎イベントやお花見がサークルで開催されるこの時期に、今一度アルコールに対する正しい知識を確認することで、未成年飲酒や、イッキ飲みのない楽しいコミュニケーションを促すため。

#### 内 容

「未成年飲酒防止」「イッキ飲み防止」の啓発を目的に、凜風館1階学生ラウンジ大型モニターでのDVDの上映、ポスターの掲示、啓発チラシ、リーフレットの配布をおこなった。

#### 効 果

- ・会場を凜風館1階学生ラウンジとし、実施時間をお昼休みに設定したことで、昼食を取るために訪れていた学生に注目してもらうことができた。DVDの上映は12:00～13:00に小休止を挟みつつ繰り返し上映し、不特定多数の学生に視聴してもらうことができた。併せて行った、啓発チラシの設置、配布でも5日間計500名の学生に今回の啓発企画について周知することができ、アルコール・ハラスメントの危険性について考えてもらうことができた。
- ・設置していたチラシを手にとってくれた学生からは、「自分もサークルで危険なアルコールの飲み方をしているところを目にすることがある。同じ学生が、アルコール・ハラスメントの啓発をおこなうのはよいことだと思った」という声をもらった。
- ・配布したチラシを受け取った多くの学生が目にした瞬間にアルコールについての話題を話したり、鞆に入れるなどして持ち帰ってくれた。
- ・イッキ飲み防止連絡協議会を取材している毎日新聞の記者の方に本企画を取材していただき、記事にして朝刊に掲載していただいた。

#### 改 善 点

企画を行うメンバーが少なかったこと、また毎日一定の時間で実施することがやや困難な状態で企画をしてしまったことがよくなかった。情報共有をより正確に積極的に行う必要があった。

#### 感 想

啓発をすることでKUSPメンバーもアルコール・ハラスメントについての知識を深めることができた。啓発の企画は効果が測定しにくいですが、学生の手で啓発の企画を行うことは有意義であったと思う。また、学生の急性アルコール中毒の事故が増える春と秋の時期にアルコール・ハラスメントの危険性を周知するために啓発をおこなうのは効果的であると思う。今後も機会があれば啓発活動をしていきたい。